



令和5年度学校だより

# 架け橋 No. 15

甲府市立山城小学校

R6. 3. 25

学校教育目標

「やさしく  
かしこく  
たくましく」

文責：校長 小澤 和彦

令和5年度が今日で終わりました。1年間の山城小学校の教育に関するご協力、本当にありがとうございました。新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移項したことにより行動制限がなくなり、活動をコロナ禍前に戻すことができるようになりました。しかし、様々な制限がなくなった故に、新たな流行やインフルエンザとの併発など今までに経験しなかったような状況も見られるようになりました。子どもたちの生活も、「距離をとること」が必須でなくなり人間関係が密接になりました。しかし、今までくっついていなかった分「適度な距離の取り方」が分からなくなってしまった子どもたちがいることも否めません。つい近づきすぎて思いもよらないトラブルが起こってしまったこともありました。お互いが安心できる、適度な距離感を身につけていく必要がありますね。ご家庭の皆様には、何かと不安定になりがちな子どもたちの心を支えていただきましたこと感謝申し上げます、ありがとうございました。本日、修了式を迎えることができたのもご家庭や地域の皆様の支援があったからこそだと思います。

## ○有終の美 すばらしい卒業式



3月21日に、令和5年度卒業証書授与式がおこなわれました。今年度は、コロナ前と同じようにひな壇を使つての全体呼びかけの形での実施となりました。今年の卒業生は154人でした。児童会の活動も、伝統的な活動を復活するなど子どもにとって楽しい児童会を目指してくれました。当然全校のリーダーとしての仕事は例年と変わりなくあります。一人一人の背負う責任は大きくなっていきますが、みんな

で協力しながら最後までやり遂げてくれました。卒業生の活躍で、令和5年度も充実した児童会活動を行うことができました。卒業式の中では、卒業生が自分たちの山城小学校での思い出を「呼びかけ」の形で語ってくれました。入学の頃、いたずら盛りの頃、林間学校の思い出、修学旅行…おこられたこと、泣いたこと…笑ったこと、様々な出来事が子どもたちの頭の中を駆け巡ったことでしょう。参加いただいたみなさんに見守られながら、温かいそしてすばらしい卒業証書授与式となりました。中学校に進んでも、一人一人が輝き続けることを祈っています。いつまでも応援しています。

## ○ありがとうございました

①学校では、エピペン接種等食物アレルギー発生時の緊急対応について教職員で研修をおこなっています。しかし、練習用のエピペンが足りなかったため、ご家庭に呼びかけたところ10本の寄付をいただくことができました。ありがとうございました。

②新聞報道等にもありましたように、川崎颯太選手（京都サンガF.C.）よりサッカーボールの寄付をいただきました。「飾るのではなく、子どもたちに使ってほしい」というメッセージのとおり、体育の時間などみんなが使えるようにしていきます。川崎選手、ありがとうございました。



## ○令和5年度 修了

担任から、「山城の子」が一人一人に渡されたことと思います。この「山城の子」の中には、1年間の子どもの成長が記されています。学習面での成長、生活面での成長、一人一人が違っています。「誰か」と比べるものではありません。「学習の様子」「生活の様子」「担任からのコメント」を見ながら1年間を振り返る機会としていただきたいと思います。

明日からは、年度末休業となります。『新しい学年』に向けて準備を進める期間です。学年通信等でお知らせがあったとおり、学用品の準備を進めると同時に、「気持ち」の準備も進めていただくようお声がけください。